

# Kansai Economic Insight Monthly

2017/4/25

Vol.48 March/April

・ APIR “Kansai Economic Insight Monthly”は、関西経済とそれに関連する中国経済の動向に関する分析レポートです。

・ レポート公開時期は毎月第 4 週金曜日を予定しています。

・ 執筆者は、稲田義久(甲南大学教授、APIR 数量経済分析センター長)、木下祐輔・James Brady・Cao Thi Khanh Nguyet・生田祐介(各 APIR 研究員)及び豊原法彦(関西学院大学教授)です。

・ 本レポートにおける「関西」は、原則として滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県の 2 府 4 県です。統計出所を発表している省庁などが「近畿」としている場合も「関西」に統一しています。

## 目次

要旨	1
関西経済のトレンドと CI, CLI	2
景気の現況	3
関空モニター	9
中国景気モニター	9
主要月次統計	14
Release Calendar	15

## 要 旨

### -景気は足下、先行きともに改善の方向にある\*-

- ✓ 2月の鉱工業生産指数は2カ月ぶりの前月比上昇。結果、1-2月平均は10-12月平均比+2.3%増加しており、1-3月期も5四半期連続の拡大が期待できる。
- ✓ 3月の輸出は2カ月連続の前年比増加、輸入も2カ月ぶりに同増加した。結果、貿易収支は2カ月連続の黒字となった。
- ✓ 3月の消費者態度指数は2カ月ぶりに改善した一方で、景気ウォッチャー現状判断DIは3カ月連続の悪化。春の行楽シーズンを控え、インバウンド需要増加への期待感はあるが、全体を押し上げるだけの強さはなく、先行き見通しは2カ月ぶりの悪化。
- ✓ 12月の関西2府4県の現金給与総額は6カ月ぶりに増加した。2016年通年では、小幅増加にとどまった。一方、1月の「関西コア」賃金指数は2カ月ぶりの減少。再び減少が続く可能性も出てきた。
- ✓ 2月の大型小売店の販売額は7カ月連続の前年比マイナス。うち百貨店は、訪日外国人の影響で販売が堅調であったものの、スーパーでは、前年がうるう年の影響から販売が落ち込んだ。
- ✓ 関西2月の新設住宅着工戸数は前年同月比-4.0%となり、4カ月ぶりの減少。全国は分譲住宅が大幅に減少したため、8カ月ぶりのマイナスとなった。
- ✓ 2月の有効求人倍率は前月比小幅上昇し、2カ月ぶりの改善。依然として高水準である。新規求人倍率も2カ月ぶりに上昇しており、企業の求人意欲は旺盛である。完全失業率は6カ月ぶりに悪化したものの、雇用環境は好調が続く。
- ✓ 3月の公共工事請負金額は前年比マイナスとなったものの、前月比ではプラスに転じており、補正予算の効果が出ているようである。
- ✓ 3月の関空への訪日外客数は54万4,020人となり、2カ月ぶりに増加した。一方、1-3月の訪日外客の平均支出額は、5四半期連続で減少が続いている。
- ✓ 中国の1-3月期の実質GDP成長率は前年同期比+6.9%となり、前期より+0.1%ポイント小幅加速。工業成長の回復と不動産市場の好調により、成長率は15年7-9月期の値まで回復した。

※景気の基調判断はAPIR(豊原法彦リサーチリーダー)開発の関西景気動向指数(CI, CLI)に基づいている。  
関西全体のCI, 試作CLIの推移は2ページを参照。

### 【関西経済のトレンド】

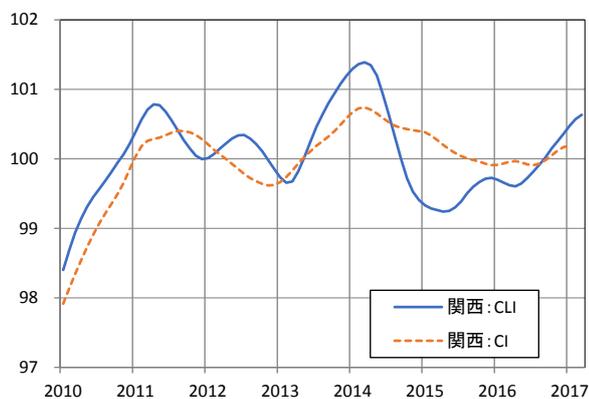
	2016年											2017年		
	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
生産	↗	↘	↘	↘	↘	↗	↗	↘	↗	↗	↗	↗		
貿易	↗	↗	↗	↗	↗	↗	↗	↗	↗	↗	↘	↗	↗	
センチメント	↘	↗	↗	↘	↗	↘	↘	↗	↗	↗	↘	↗	↘	
消費	↗	↗	↘	↘	↗	↘	↘	↘	↘	↘	↗	↘		
住宅	↗	↗	↗	↘	↗	↘	↗	↗	↗	↗	↗	↗		
雇用	↗	↗	↗	↗	↗	↘	↗	↗	↗	↗	↗	↗		
公共工事	↗	↗	↗	↘	↗	↗	↗	↘	↘	↗	↘	↘	↘	
中国	↗	↗	↗	↗	↗	↗	↗	↗	↗	↗	↗	↗	↗	

(\*トレンドの判断基準)

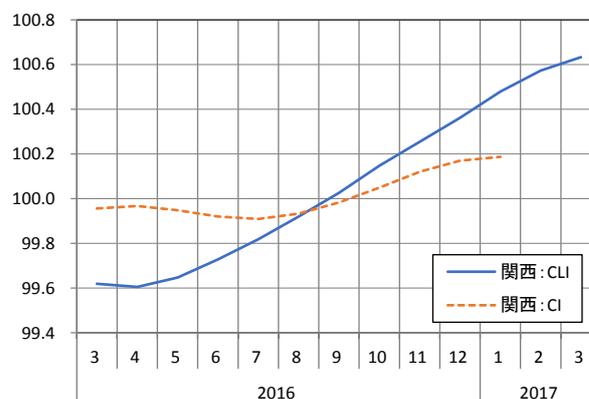
- ・**生産**: 近畿経済産業局『近畿地域広工業生産動向』生産指数(季節調整値)が前月比+0.5%以上であれば上向き、同-0.5%未満であれば下向き、それ以外は横ばい。
- ・**貿易**: 大阪税関『貿易統計』の近畿圏貿易収支(入出超額)前年同月から500億円以上の改善は上向き、同500億円以上の悪化は下向き、それ以外は横ばい。
- ・**センチメント**: 内閣府『景気ウォッチャー調査』の近畿現状判断(方向性)DIが前月比で1ポイント以上の改善は上向き、1ポイント以上の悪化は下向き、それ以外は横ばい。
- ・**消費**: 近畿経済産業局『大型小売店販売状況』(全店ベース)が前年同月比で1%以上増加していれば上向き、同1%以上悪化していれば下向き、それ以外は横ばい。
- ・**住宅**: 国土交通省『住宅着工統計』新設住宅着工戸数が前年同月比で5%以上増加していれば上向き、同5%以上悪化していれば下向き、それ以外は横ばい。
- ・**雇用**: 厚生労働省『一般職業紹介状況』有効求人倍率(季節調整値)が前月比で0.01ポイント以上の改善は上向き、変化がなければ横ばい、0.01ポイント以上の悪化は下向きとする。
- ・**公共工事**: 西日本建設業保証株式会社『公共工事前払金保証統計』公共工事請負金額が前年同月比で5%以上増加していれば上向き、同5%以上悪化していれば下向き、それ以外は横ばい。

### 【関西の景気動向指数(CI一致指数・試作 CLI)の推移】

CI一致指数・試作 CLI の推移(2010年1月～2017年3月まで)



直近1年間の推移(2016年3月～2017年3月まで)



【鉱工業生産動向】

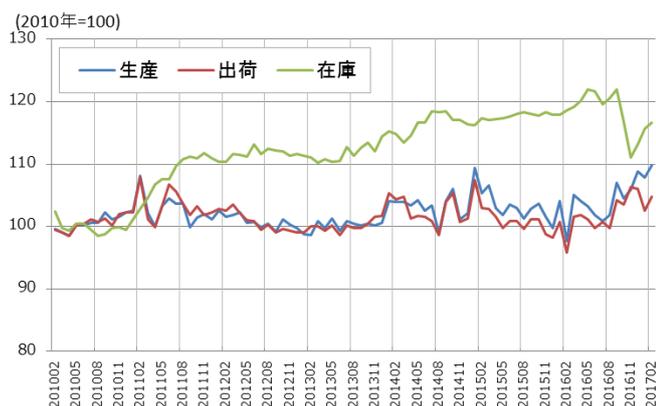
(1) 関西の生産動向

2月関西の鉱工業指数(確報値：季節調整済、2010年=100)を見ると、生産は109.8で、前月比+1.8%と2カ月ぶりの上昇。出荷は104.8で同+2.1%と3カ月ぶりの上昇。在庫は116.6で同+0.8%と3カ月連続の上昇。生産指数の1-2月平均と10-12月平均と比較すると、+2.3%と増加しており、1-3月期も5四半期連続の拡大が期待できる。なお、生産と強い関係がある実質輸出(季節調整済、2010年=100)は118.0で、春節の影響もあり、2月は同+13.3%と3カ月ぶりに大幅上昇した。

業種別に生産指数をみると、輸送機械(前月比+13.8%、2カ月ぶり)、化学(同+5.0%、2カ月ぶり)、食料品・たばこ(同+3.7%、3カ月ぶり)、電子部品・デバイス(同+3.8%、2カ月ぶり)、はん用・生産用・業務用機械(同+1.1%、2カ月ぶり)等が増産となった。一方、電気機械(同-5.0%、2カ月連続)、情報通信機械(同-2.7%、2カ月ぶり)、プラスチック製品(同-1.4%、2カ月ぶり)等が減産となった。

2月は生産、出荷、在庫ともに前月比で上昇し、前月に引き続き、生産は持ち直しの動きが見られる。

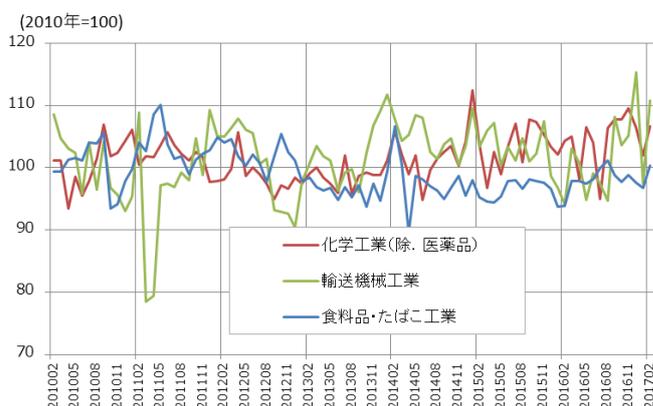
関西の鉱工業指数の推移(2017年2月まで)



(注) 福井県を含む。

(出所) 近畿経済産業局「近畿経済の動向」

関西の業種別生産指数の推移(2017年2月まで)



(注) 福井県を含む。

(出所) 近畿経済産業局「近畿経済の動向」

(2) 全国の生産動向

2月全国の鉱工業指数(確報値：季節調整済、2010年=100)を見ると、生産は101.7となり前月比+3.2%と2カ月ぶりの上昇。出荷は99.2で同+1.4%と2カ月ぶりの上昇。在庫は107.4で同+0.7%と3カ月連続で上昇した。

業種別にみると、輸送機械(前月比+4.2%)、はん用・生産用・業務用機械(同+4.4%)、化学工業(同+4.9%)等は増産となった。一方、石油・石炭製品(同-1.1%)、パルプ・紙・紙加工品(同-0.7%)、繊維(同-0.5%)等が減産となった。

製造工業生産予測調査によると、3月は前月比-2.0%の減産、4月は同+8.3%と増産が予測されている。関西同様、生産、出荷、在庫ともに前月比で上昇し、生産に持ち直しの動きが見られる。

全国の鉱工業指数の推移(2017年2月まで)



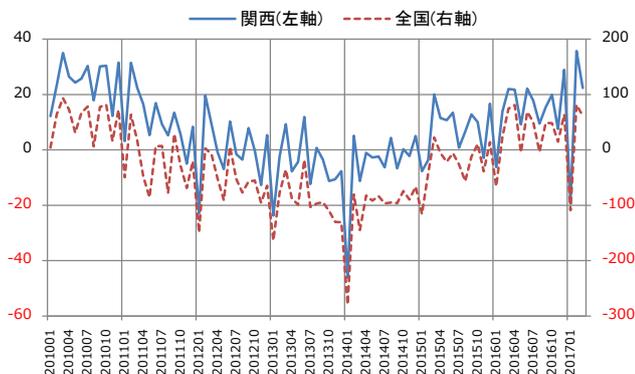
(出所) 経済産業省「鉱工業指数」

【貿易動向】

(1) 純輸出

貿易概況(速報値)によれば、関西3月の貿易収支は+2,236億円と2カ月連続の黒字となり、黒字幅は前年同月比+1.6%拡大した。全国の貿易収支(速報値)は+6,147億円とこちらも2カ月連続の黒字となったものの、黒字幅は同-17.5%縮小した。

関西・全国の貿易収支の推移：(100億円, 2017年3月まで)



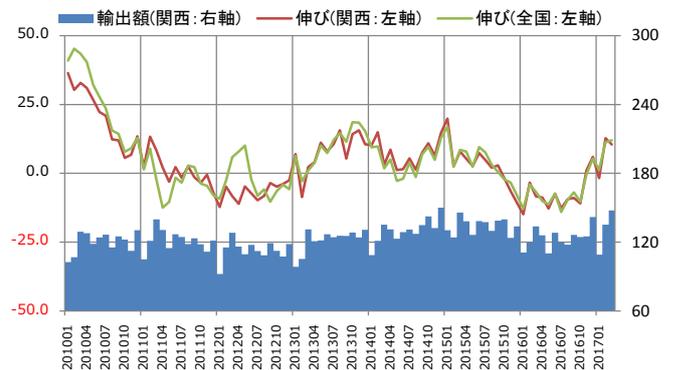
(出所) 大阪税関調査統計課「大阪税関貿易速報資料：近畿圏」

(2) 輸出

関西3月の輸出額(速報値)は1兆4,766億円で前年同月比+10.4%と2カ月連続の増加。財別に見れば、半導体等製造装置、科学光学機器が増加した。

全国3月の輸出額(速報値)は7兆2,291億円、前年同月比+12.0%と4カ月連続の増加。財別に見れば、自動車部品、科学光学機器、鉄鋼が増加した。

関西・全国の輸出の推移(100億円, 前年同月比, 2017年3月まで)



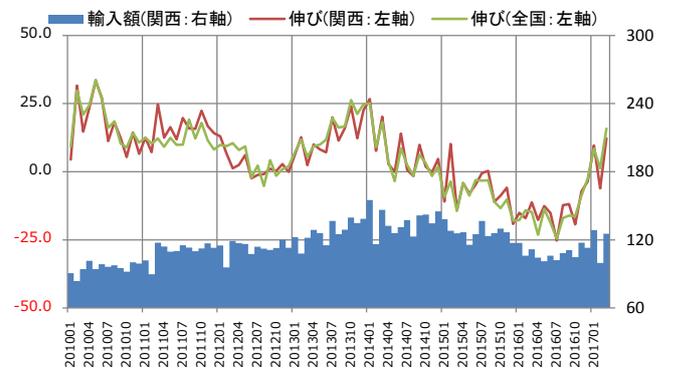
(出所) 大阪税関調査統計課「大阪税関貿易速報資料：近畿圏」

(3) 輸入

関西3月の輸入額(速報値)は1兆2,530億円、伸びは前年同月比+12.2%と2カ月ぶりの増加。財別に見れば、原油及び粗油、石炭が増加した。

全国3月の輸入額(速報値)は6兆6,144億円、前年同月比+15.8%と3カ月連続の増加。財別に見れば、原粗油、石炭、石油製品の輸入が増加した。

関西・全国の輸入の推移(100億円, 前年同月比, 2017年3月まで)



(出所) 財務省「財務省貿易統計」

(4) 関西の地域別貿易

関西3月の貿易収支を地域別に見ると、対アジア貿易収支は+2,763億円と2カ月連続の黒字となり、前年同月比+38.3%改善した。輸出は2カ月連続の増加(同+11.7%)。財別に見れば、半導体等製造装置、科学光学機器等が増加した。一方、輸入は2カ月ぶりの増加(同+4.0%)。財別に見ると、衣類及び同附属品、がん具及び遊戯用具等が増加した。

うち、対中貿易収支は-575 億円と 2 カ月ぶりの赤字となった。輸出は 5 カ月連続の増加(前年同月比+14.4%)。財別に見ると、科学光学機器、プラスチック等が増加した。輸入は 2 カ月ぶりの増加(同+7.2%)。財別に見ると、がん具及び遊戯用具、衣類及び同附属品等が増加した。

対米貿易収支は+890 億円の黒字となったものの、伸びは 2 カ月ぶりのマイナスとなった(前年同月比-6.0%)。うち、輸出は 2 カ月連続の増加(同+15.3%)。財別に見れば、有機化合物、半導体等製造装置等が増加した。輸入は 4 カ月連続の増加(同+36.5%)。財別に見れば、石炭、天然ガス及び製造ガス等が増加した。

対 EU 貿易収支は+51 億円と 2 カ月連続の黒字となった。輸出は 2 カ月連続の増加(前年同月比+4.7%)。財別に見れば、原動機、科学光学機器等が増加。輸入は 2 カ月ぶりの増加(同+21.5%)。財別に見れば、たばこ、医薬品等が増加した。

## 【消費者センチメント】

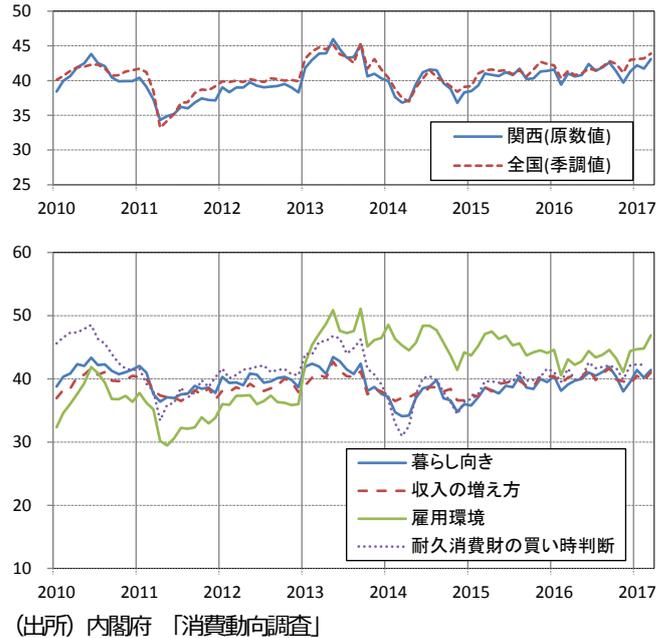
### (1) 消費者態度指数の動向

関西の 3 月の消費者態度指数(原数値)は前月比+1.4 ポイント上昇し 43.1 となり、2 カ月ぶりの改善。また、全国(季節調整値)は+0.7 ポイント上昇し 43.9 となり、4 カ月連続の改善であった。

全国の同指数の構成項目を見ると、全ての項目で前月から上昇した。内訳をみると、「暮らし向き」が前月比で+0.9 ポイント、「収入の増え方」「雇用環境」「耐久消費財の買い時判断」はいずれも同+0.7 ポイント上昇した。春闘を通じて賃金上昇への期待感が高まった一方で、物価が安定して推移するという見通しが広がり、景況感の改善につながった。内閣府は消費者心理の基調判断を「持ち直している」として、2 カ月ぶりに上方修正した。基調判断が「持ち直している」となったのは、2015年4月以来、23カ月ぶりのことである。なお、3月から過去の数字が遡及改訂されている。

また、関西についても同指数構成項目は、4 指標全てが改善した。内訳を見ると、「雇用環境」が前月比+2.1 ポイント、「収入の増え方」が同+1.3 ポイント、「暮らし向き」が同+1.2 ポイント、「耐久消費財の買い時判断」が同+0.7 ポイントそれぞれ上昇した。特に雇用環境と収入の増え方の伸びが大きいことは好材料といえよう。

消費者態度指数(2017年3月まで)



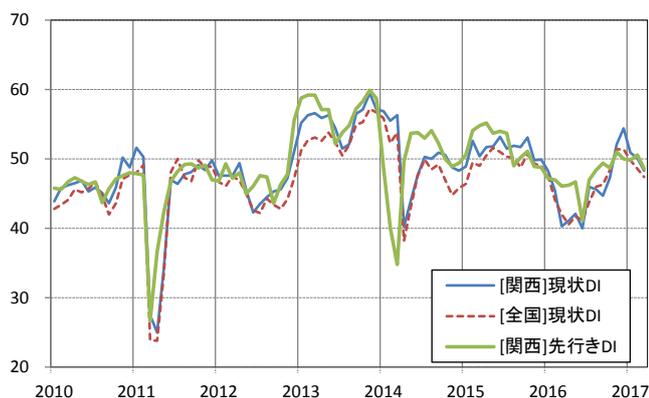
### (2) 景気ウォッチャー指数の動向

関西の 3 月の現状判断 DI(季節調整値)は 48.3 と前月比-1.8 ポイント低下し、3 カ月連続の悪化。景況感の良し悪しのでき分け目となる 50 を 5 カ月ぶりに下回った。背景として、インバウンド関連需要は堅調だったものの、気温の上昇が鈍く春物商材の売れ行きが悪かったこと、依然として消費者の節約志向が強いことなどが悪化に寄与した。

全国は 47.4 で同-1.2 ポイント低下し、こちらも 3 カ月連続で悪化した。

また、先行き判断 DI(季節調整値)は、関西では 48.6 と前月比-2.0 ポイント低下し、2 カ月ぶりの悪化。春の行楽シーズンを控え、インバウンド関連需要増加への期待感はあるものの、全体を押し上げるだけの強さはない。全国は 48.1 と同-2.5 ポイント低下し、こちらも 2 カ月ぶりに悪化した。

景気ウォッチャー調査(2017年3月まで)



(出所) 内閣府「景気ウォッチャー調査」

## 【所得・個人消費・住宅】

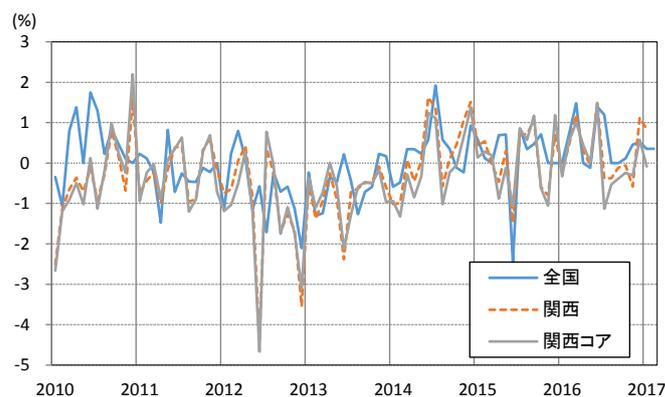
### (1) 現金給与総額

12月の関西2府4県の現金給与総額(APIR推計)は56万1,552円で前年同月比+1.1%となり、6カ月ぶりの増加。2016年通年で見ると、前年比は+0.3%と小幅の増加にとどまった。府県別では、奈良県が同+7.7%(2カ月ぶり)、滋賀県が同+4.1%(2カ月ぶり)、京都府・兵庫県が同+2.0%(それぞれ2カ月連続、3カ月連続)、和歌山県が同+1.7%(2カ月ぶり)の増加となった。一方、大阪府は-0.3%と6カ月連続で減少が続いている。また、1月の京都・大阪・兵庫の加重平均をとった速報性のある「関西コア」賃金指数(APIR推計)は同-0.1%減少し、2カ月ぶりの悪化。再び減少が続く可能性も出てきた。

全国(確報値)の現金給与総額をみると、2月は前年同月比で+0.4%と5カ月連続の増加であった。内訳をみると、所定内給与は同+0.2%と8カ月連続のプラス。所定外給与は同+0.5%と9カ月ぶりのプラス。特別給与は同+3.7%と2カ月ぶりのプラスであった。

また、現金給与総額から物価上昇分(帰属家賃を除く総合)を除いた実質賃金は同横ばいであった。

現金給与総額(前年同月比：%、2017年2月まで)



(注) 関西・関西コア(京都、大阪、兵庫)はAPIR推計値。現金給与総額を当該常用労働者数(2011年平均)で加重平均。

(出所) 厚生労働省「毎月勤労統計調査」

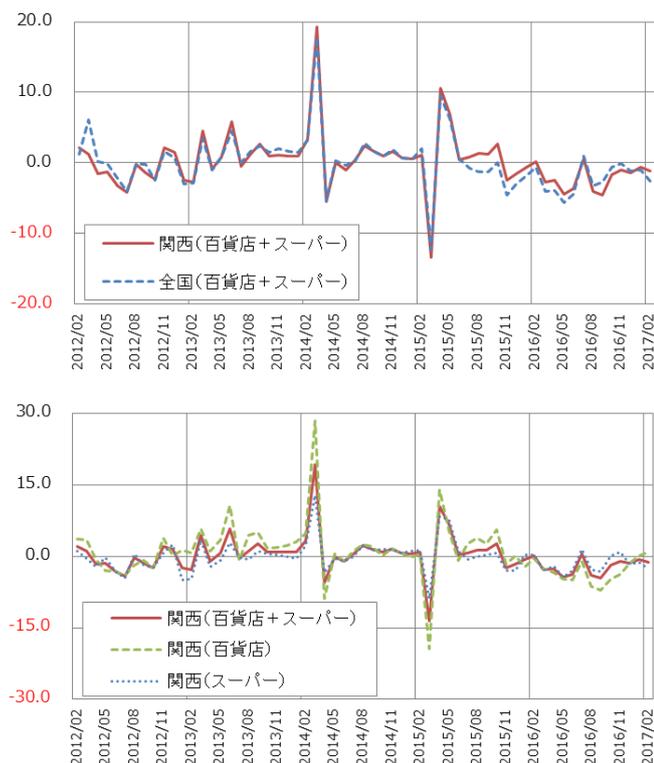
### (2) 大型小売店販売額

関西2月の大型小売店(百貨店+スーパー)の販売額(全店ベース)は2,866億円となり、前年同月比-1.2%と7カ月連続のマイナス。百貨店は同+0.9%増加し、2カ月連続のプラス。スーパーは同-2.5%と3カ月連続のマイナス。

2月の百貨店・スーパーの販売額は、訪日外国人に対する販売は化粧品を中心に堅調であったが、前年がうるう年であったこともあり、前年比で減少した。

全国2月の大型小売店販売額(全店ベース)は1兆4,493億円と、前年同月比-2.6%と7カ月連続の減少であった。前月同様、経済産業省は小売業販売額(季節調整済)のトレンドは「持ち直しの動きがみられる」としている。なお、百貨店免税売上(日銀大阪支店)によると、2月は前年同月比+27.0%(前月+38.4%)と3カ月連続で二桁の伸びを示している。

大型小売店販売額(前年同月比：%、2017年2月まで)



(注) 福井県を含む。(出所) 経済産業省「商業動態統計」

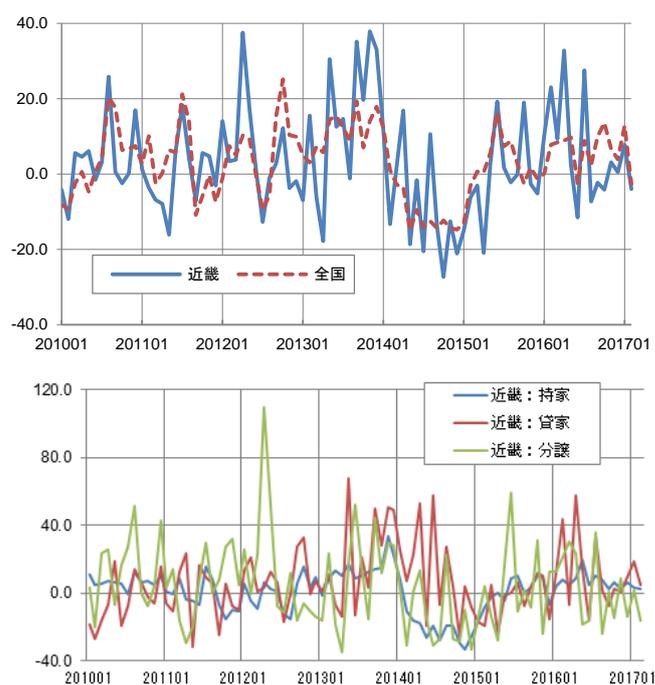
### (3) 新設住宅着工の動向

関西2月の新設住宅着工戸数は10,639戸と前年同月比-4.0%となり、4カ月ぶりの減少。全国は70,912戸と同-2.6%減少し、8カ月ぶりのマイナスとなった。その背景には、前年同月比で持家、貸家が増加したものの、分譲住宅は大幅に減少したことがある。

関西の住宅着工戸数を利用関係別にみると、持家は2,739戸で前年同月比+2.4%と14カ月連続のプラス。貸家は4,579戸で同+4.9%と5カ月連続のプラス。一方、分譲は3,287戸と同-16.1%大幅減少し、2カ月ぶりのマイナス。

3月の関西のマンション契約率は70.9%(季節調整値、APIR推計)となり、好不調の目安となる70%を10カ月連続で上回った。一方、首都圏は64.0%(季節調整値、APIR推計)と、前月から低下した。引き続き、今後の動向を注視する必要がある。

新設住宅着工戸数(前年同月比：%、2017年2月まで)



(出所) 国土交通省「住宅着工統計」

### 【雇用動向】

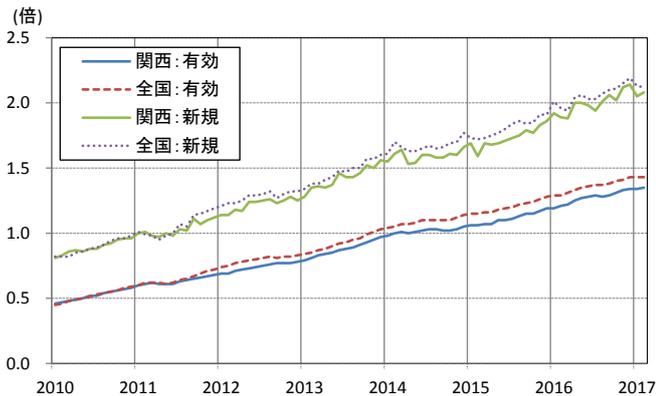
#### (1) 求人倍率の動向

2月の関西の有効求人倍率は、1.35倍で前月比+0.01ポイント小幅上昇し、2カ月ぶりの改善。依然として高水準が続いている。また、2月の全国は1.43倍で2カ月連続の同横ばいとなっており、雇用情勢は引き続き好調である。

有効求人倍率を府県別にみると、京都府で前月比+0.06ポイント、兵庫県・和歌山県で同+0.02ポイント小幅上昇した。一方、奈良県は同横ばい、滋賀県で同-0.03ポイント、大阪府では同-0.01ポイント小幅下落した。

2月の関西の新規求人倍率は、2.08倍で前月比+0.03ポイントと2カ月ぶりの上昇。新規求人数が同+3.1%上昇したことによるもので、企業の求人意欲は旺盛である。

求人倍率の推移 (季節調整値、2017年2月まで)



(出所) 厚生労働省「一般職業紹介状況」

関西2府4県有効求人倍率(2017年1月-2017年2月)

	全国	関西	滋賀県	京都府	大阪府	兵庫県	奈良県	和歌山県
2月	1.43	1.35	1.21	1.45	1.45	1.22	1.22	1.21
1月	1.43	1.34	1.24	1.39	1.46	1.20	1.22	1.19

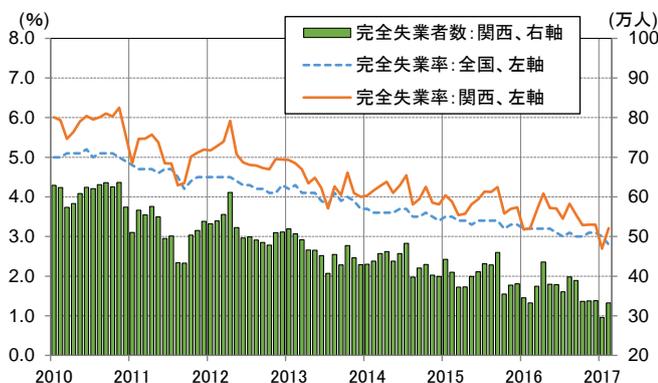
## (2) 完全失業率の推移

2月の関西の完全失業率(季節調整値:APIR推計)は3.2%と前月比+0.5%ポイント上昇し、6カ月ぶりの悪化。内訳をみると、労働力人口と就業者数がともに減少しているが、いずれも好調だった前月の反動と考えられ、雇用環境は好調が続いているとみられる。

関西の完全失業者数(季節調整値:APIR推計)は33.2万人で前月から+3.6万人増加。3カ月ぶりの悪化であった。

全国の完全失業率(季節調整値)は2.8%と、前月比-0.2%ポイント小幅低下した。1994年6月以来の低水準であり、極めて労働需給が引き締まった状態が続いている。

完全失業率の推移 (季節調整値:2017年2月まで)



(出所) 総務省「労働力調査」

全国の完全失業者数(季節調整値)は190万人で前月から-8万人減少し、2カ月連続の改善。就業者数が同-21万人減少した一方で、非労働力人口が同+31万人増加している点は注意が必要だが、雇用は引き続き良好である。

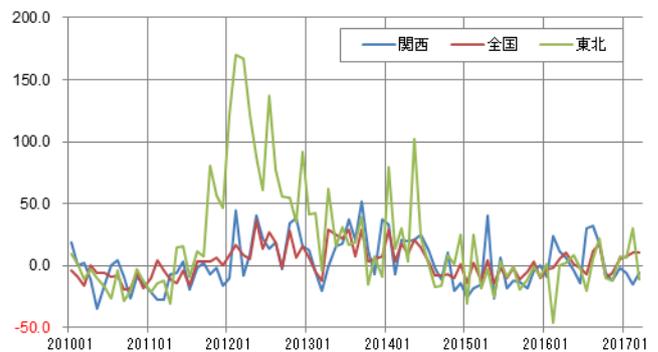
## 【公共投資】

### (1) 公共工事請負金額

関西3月の公共工事請負金額は1,181億円で前年同月比-6.2%と6カ月連続の減少。全国は1兆4,859億円で同+10.9%と4カ月連続の増加。東北は2,306億円で同-11.1%と4カ月ぶりのマイナス。

季節調整値(APIR推計)で見ると、関西は前月比+9.0%となり、2カ月連続のプラス。一方、全国は同+0.0%となった。関西公共工事請負金額は前年比マイナスとなったものの、前月比ではプラスに転じており、補正予算の効果が出ているようである。

公共工事請負金額(前年同月比:%、2017年3月まで)



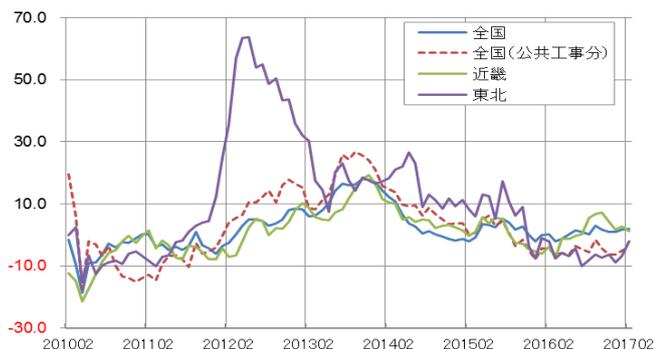
(出所) 東日本建設業保証株式会社「公共工事前払金保証統計」

### (2) 建設工事

関西2月の建設工事出来高は5,700億円で、前年同月比+3.4%と7カ月連続の増加。東北については5,667億円で、同-2.1%と16カ月連続の減少。

全国2月の建設工事出来高は4兆6,079億円となり、前年同月比+2.2%と9カ月連続の増加。うち、公共工事は1兆9,482億円で、同-4.2%と18カ月連続のマイナスとなったものの、関西の建設工事は、全国と同様堅調である。

建設工事(前年同月比：％、2017年2月まで)



(出所) 国土交通省「建設総合統計」

【関空モニター】

(1) 訪日外客数トレンド

3月の関空への訪日外客数は54万4,020人となり、前年同月比+5.2%と2カ月ぶりに増加しており、引き続き高水準で推移している。中でも、出外国人数は49万6,800人と同+8.0%増加しており、外国人旅客総合数(出入国合計)全体では104万820人と同+6.5%増加した。

また、出国日本人数は33万5,700人で、前年同月比+12.6%と2カ月連続で増加した。

訪日外客数と出国日本人数(2017年3月まで)



(出所) 一般財団法人関西空港調査会「KANSAI 空港レビュー」

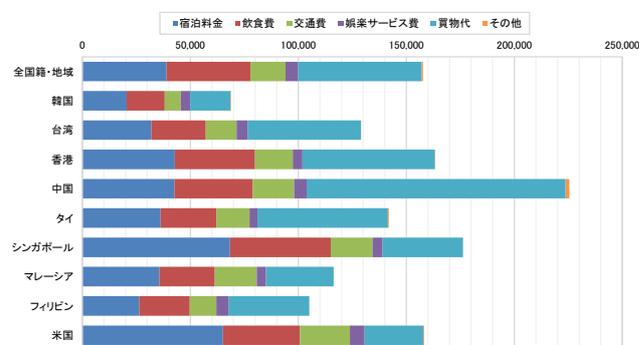
(2) 訪日外客支出

2017年1-3月期に日本を訪れた外国人による平均消費額は14万8,066円(前年同期比-8.5%)で5四半期連続のマイナスであった。うち、中国の平均支出額は22万5,489円(同-14.9%)で最も減少幅が大きく、5四半期連続のマイナスで

あった。中でも買物代は11万9,909円で同-20.7%と、5四半期連続で減少した。

中国以外の国々について支出額が大きい順に見ると、シンガポールが17万6,192円(前年同期比+6.9%)、香港が16万3,229円(同-8.3%)、米国が15万8,187円(同+7.3%)、タイが14万1,876円(同+10.8%)、台湾が12万9,045円(同-3.8%)、マレーシアが11万6,310円(同-11.4%)、フィリピンが10万5,058円(同-7.0%)、韓国が6万8,856円(同-4.1%)であった。

国別訪日外客支出総額(2017年1-3月期：全国、円)



(出所) 観光庁「訪日外国人の消費動向」

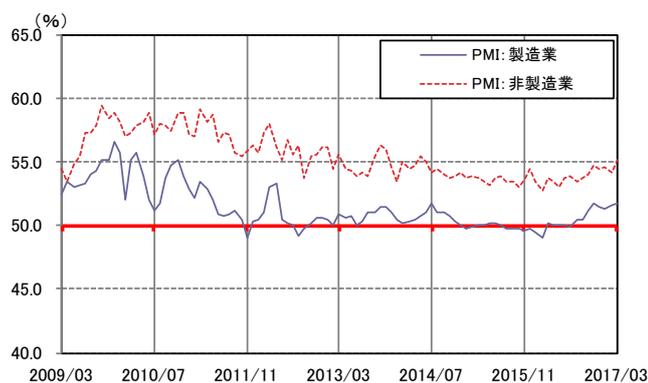
【中国景気モニター】

(1) センチメント

3月の製造業購買担当者景況指数(PMI)は51.8となり、前月から+0.2ポイント上昇し、2カ月連続の改善。また、8カ月連続で景気分岐点である50を上回った。一方、非製造業購買担当者景況指数は55.1となり、前月より+0.9ポイント上昇し、2カ月ぶりのプラスとなった。

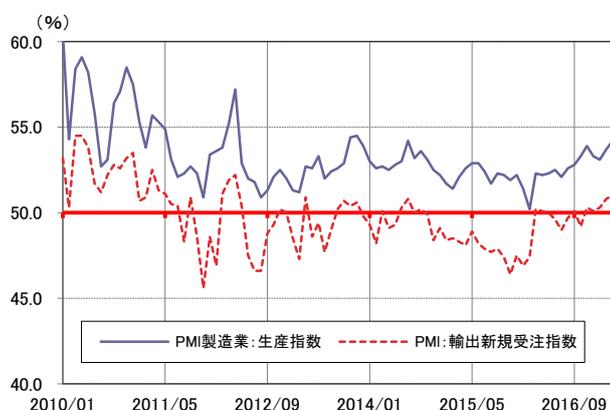
製造業 PMI のうち、生産指数は54.2となり、前月比+0.5ポイント上昇し、2カ月連続で改善した。輸出新規受注指数は51.0となり、同+0.3ポイント上昇し、2カ月連続の改善。また、雇用指数は50.0となり、2012年5月以来、初めて分岐点を超えた。

中国製造業・非製造業購買担当者景況指数(2017年3月まで)



(出所) 中国国家统计局; CEIC データベース

中国製造業購買担当者景況指数(2017年3月まで)



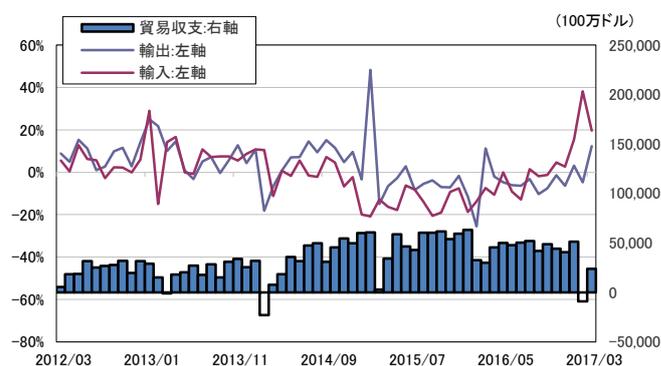
(出所) 中国国家统计局; CEIC データベース

## (2) 貿易動向

3月の貿易収支は+239億ドルとなり、先月の赤字から黒字に転じた。黒字幅は前年同月より-59.3億ドル縮小し、8カ月連続のマイナス。うち、輸出額(速報値、ドル・ベース)は1,806億ドルとなり、同+12.3%増加。2カ月ぶりのプラス。輸入額は1,567億ドルとなり、同+19.6%増加し、5カ月連続のプラス。

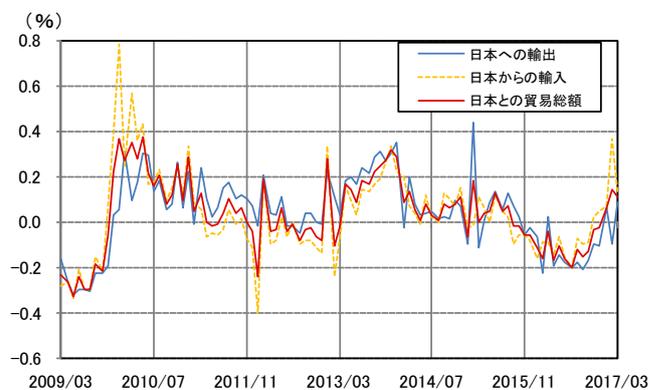
また、対日貿易収支は-20.5億ドルとなり、2カ月連続の赤字となった。対日輸出額は120.8億ドルとなり、前年同月比+8.5%となり、2カ月ぶりの増加。一方、対日輸入額は141.3億ドルとなり、同+13.6%と8カ月連続で増加した。なお、円ベースでみると、対日輸出額は同+8.4%と、2カ月ぶりの増加。また、対日輸入額は同+13.5%と、5カ月連続のプラスであった。

中国の貿易動向(前年同月比:ドル・ベース)(2017年3月まで)



(出所) 中国税関; CEIC データベース; APIR 計算

日本との貿易(前年同月比:円ベース)(2017年3月まで)



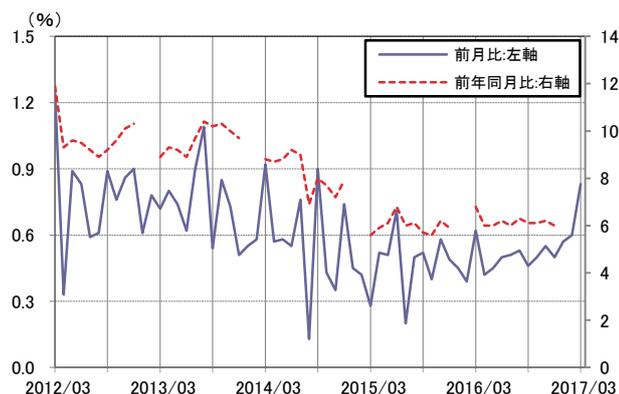
(出所) 中国税関; CEIC データベース; APIR 計算

## (3) 工業生産

3月の工業生産は前月比+0.83%となり、伸びは前月から+0.23%ポイント上昇し、3カ月連続で加速した。また、前年同月比では+7.6%となった。

産業別に見ると、自動車製造業(前年同月比+12.3%)、専用設備製造業(同+13.5%)、パソコン・通信設備製造業(同+16.1%)などが高い伸びを示す一方で、繊維工業(同+4.6%)、化学原料・製品製造業(同+4.6%)、有色金属圧延加工工業(同+4.2%)などは比較的低調な伸びにことどまった。また、鉄鋼などの精練・圧延加工工業(同-0.2%)が減産となった。

工業生産指数(2017年3月まで)



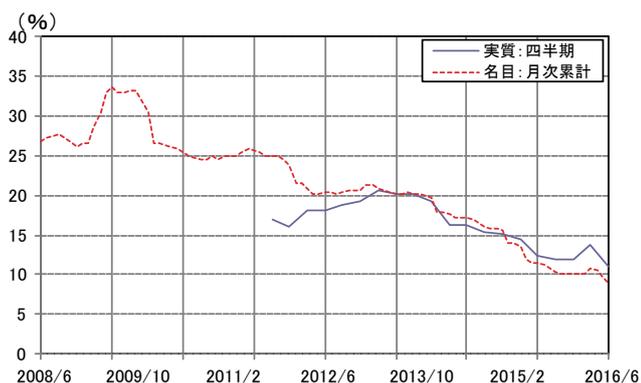
(出所) 中国国家统计局; CEIC データベース

#### (4) 固定資産投資

1-3 月期の(累積)固定資産投資(名目)は前年同月比+9.2%となり、伸びは 1-2 月期(+8.9%)から+0.3%ポイント上昇した。

産業別に見ると、第1次産業は前年同月比+19.8%、伸びは前月より+0.7%ポイント上昇し、2 カ月連続で加速した。第2次産業は同+4.2%となり、前月から+1.3%ポイント上昇。一方、第3次産業は同+12.2%となり、前月と同じ値となった。

固定資産投資 (2017年3月まで) (累積伸び率)

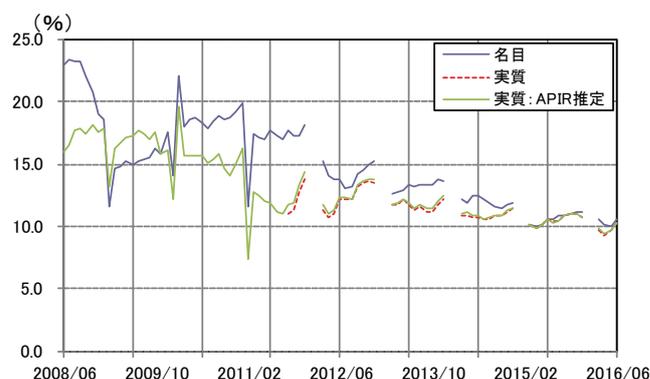


(出所) 中国国家统计局; CEIC データベース

#### (5) 消費

1-3 月期の社会消費品小売総額(名目)は前年同月比+10.9%となり、伸びは前月(同+9.5%)より+1.4%ポイント上昇した。

社会消費品小売総額成長率の推移 (2017年3月まで)



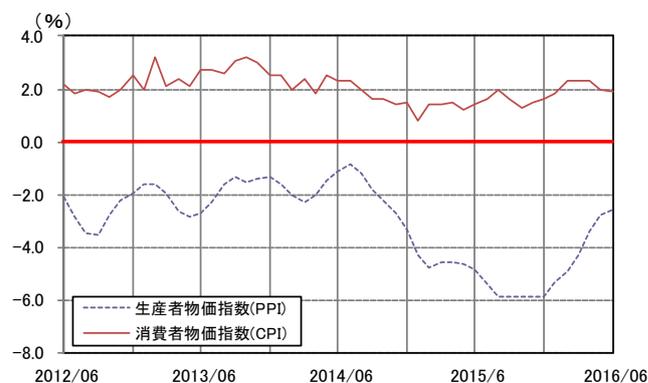
(注) APIR 値は小売価格指数を用いて計算した値

(出所) 中国国家统计局; CEIC データベース

#### (6) 物価水準

3 月の消費者物価指数(CPI)は前年同月比+0.9%上昇した。伸びは前月から+0.1%ポイント上昇し、2 カ月ぶりの加速。また、生産者物価指数(PPI)は同+7.6%となり、伸びは前月から-0.2%ポイント小幅低下し、7 カ月ぶりの減速となった。需給バランスの改善やデフレ圧力の緩和が引き続き見られる。

消費者物価指数と生産者物価指数の推移(2017年3月まで : %)

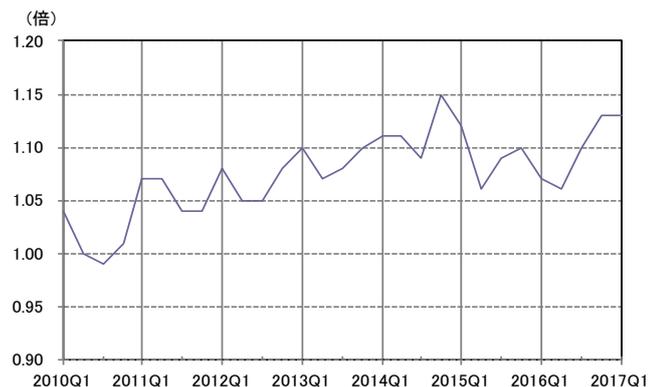


(出所) 中国国家统计局; CEIC データベース

(7) 求人倍率

1-3 月期の有効求人倍率は 1.13 となり、10-12 月期と同水準である。求人倍率を地域別に見ると、東部は 1.08 (10-12 月期: 1.09)、中部は 1.20 (同: 1.21)、西部は 1.16 (同: 1.15)となっている。

有効求人倍率(2017年1-3月期まで)

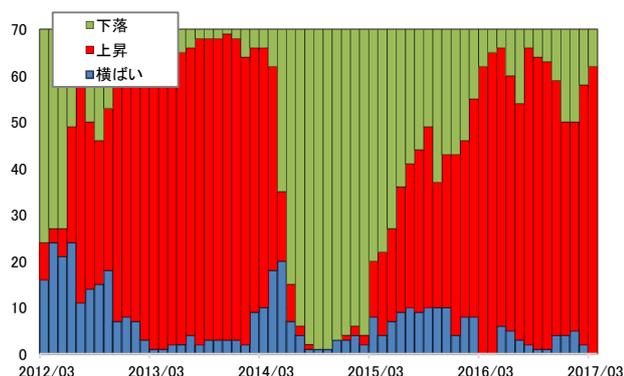


(出所)中国労働市場情報観測センター; CEIC データベース

(8) 不動産市場

3月の不動産市場は、好調を維持した。不動産価格(新築住宅価格)を見ると、中国主要 70 都市のうち、62 都市で前月から上昇。前月と比較すると、上昇した都市数が 6 都市増加し、2 カ月連続の改善。一方、8 都市で価格が前月から下落した。前月と比較すると、下落した都市数が 4 都市減少した。

新築住宅価格の主要都市集計 (2017年3月まで: 都市数)



(出所) 中国国家统计局; CEIC データベース

(9) GDP

1-3 月期の実質 GDP 成長率は前年同期比+6.9%となり、2016年10-12月期より+0.1%ポイント小幅上昇した。

産業別に見ると、第1次産業の成長率は前年同期比+3.0%、伸びは前期より-0.3%ポイント低下。第2次産業は同+6.4%で、伸びは前期より+0.3%ポイント上昇。一方、第3次産業は同+7.7%となり、伸びは前期より-0.1%ポイント低下した。工業成長の回復と不動産市場の好調により、GDP 成長率は 2015年7-9月期の値まで回復した。

リコノミクス指数(APIR 試算)と実質 GDP 成長率の推移  
(2017年1-3月期まで: %)

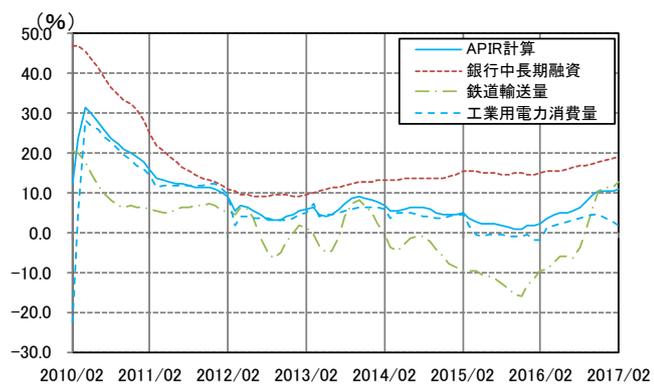


(出所) 中国国家统计局; CEIC データベース

(10) リコノミクス指数

2月のリコノミクス指数(APIR 試算)は前年同月比+10.7%と前月から+0.2%ポイント上昇し、3 カ月ぶりのプラスとなった。内訳をみると、銀行中長期融資は同+19.3%となり、伸びは前月から+0.5%ポイント上昇し、11 カ月連続で加速している。鉄道輸送量は同+12.8%と、伸びは前月から+1.5%ポイント上昇し、2 カ月ぶりで加速した。工業用電力消費量は同+1.9%となったが、伸びは前月から-1%ポイント下落し、3 カ月連続で減速した。

APIR 試算のリコノミクス指数とその内訳(2017年2月まで:%)



(出所) 中国国家统计局; CEIC データベース

Contact : 木下祐輔・James Brady・Cao Thi Khanh Nguyet・生田祐介

Tel. 06-6485-7694,

E-mail. [contact@apir.or.jp](mailto:contact@apir.or.jp)

【主要月次統計】

月次統計	16/3M	16/4M	16/5M	16/6M	16/7M	16/8M	16/9M	16/10M	16/11M	16/12M	17/1M	17/2M	17/3M
景況概況													
[関西]景気ウォッチャー調査(現状DI、季節調整値)	40.3	41.1	42.1	40.0	46.0	45.6	44.7	47.3	52.1	54.4	50.9	50.1	48.3
[関西]景気ウォッチャー調査(先行き、季節調整値)	46.1	46.2	46.7	41.1	47.0	48.4	49.4	48.7	51.0	50.0	49.8	50.6	48.6
[全国]景気ウォッチャー調査(現状DI、季節調整値)	42.0	40.6	41.7	41.2	43.8	46.0	46.3	48.4	51.4	51.4	49.8	48.6	47.4
[全国]景気ウォッチャー調査(先行き、季節調整値)	45.7	43.7	45.4	40.5	46.9	48.6	49.4	50.3	51.3	50.9	49.4	50.6	48.1
消費者心理・小売													
[関西]消費者態度指数(原数値)	41.0	40.6	40.8	42.4	41.4	41.9	42.6	41.3	39.7	41.3	42.2	41.7	43.1
[関西]"暮らし向き(原数値)	39.1	39.7	40.0	41.0	40.5	41.1	41.9	40.3	38.0	39.5	41.4	40.2	41.4
[関西]"収入の増え方(原数値)	40.2	40.6	40.2	41.6	39.8	40.8	41.7	39.9	39.6	39.2	40.5	39.7	41.0
[関西]"雇用環境(原数値)	43.1	42.2	42.8	44.4	43.4	43.8	44.6	43.2	41.1	44.4	44.7	44.8	46.9
[関西]"耐久消費財の買い時判断(原数値)	41.6	39.9	40.1	42.6	41.7	41.9	42.1	41.7	39.9	42.1	42.3	42.2	42.9
[全国]消費者態度指数(季節調整値)	41.4	40.8	41.0	41.7	41.5	42.0	42.8	42.4	41.1	43.0	43.1	43.2	43.9
[関西]大型小売店販売額(10億円)	318.1	303.1	310.6	303.9	339.6	302.9	284.2	311.0	323.8	406.5	330.9	286.6	UN
[関西]大型小売店販売額(前年同月比%、全店)	-0.6	-0.3	-2.3	-1.5	0.5	-4.0	-4.6	-1.7	-1.0	-1.4	-0.6	-1.2	UN
[全国]大型小売店販売額(10億円)	1,646.0	1,545.8	1,597.9	1,567.5	1,721.0	1,554.0	1,470.5	1,596.6	1,647.9	2,067.6	1,674.3	2,866.4	UN
[全国]大型小売店販売額(前年同月比%、全店)	-0.2	-0.1	-1.9	-0.7	0.9	-3.2	-2.7	-0.7	-0.1	-1.2	-1.0	-2.6	UN
住宅・建設													
[関西]新設住宅着工(戸数)	11,846	13,050	10,682	12,681	13,028	11,580	11,435	12,346	12,257	11,079	11,409	10,639	UN
[関西]新設住宅着工(前年同月比%)	9.4	32.9	2.6	-11.5	27.6	-7.3	-2.2	-4.1	3.2	0.5	7.8	-4.0	UN
[全国]新設住宅着工(戸数)	75,744	82,398	78,728	85,953	85,208	82,242	85,622	87,707	85,051	78,406	76,491	70,912	UN
[全国]新設住宅着工(前年同月比%)	8.4	9.0	9.8	-2.5	8.9	2.5	10.0	13.7	6.7	3.9	12.8	-2.6	UN
[関西]マンション契約率(季節調整値)	76.6	69.3	61.8	70.4	70.8	73.8	69.1	70.9	73.7	72.7	81.2	76.5	70.9
[関西]マンション契約率(原数値)	78.6	70.0	64.5	73.3	74.6	73.8	68.1	71.8	75.4	69.2	75.1	74.5	73.3
[全国]マンション契約率(季節調整値)	64.3	66.0	71.1	67.3	60.2	68.9	73.2	64.0	61.3	79.6	63.7	67.2	64.0
[全国]マンション契約率(原数値)	67.6	66.4	70.9	69.6	63.3	66.6	72.0	61.6	62.5	76.6	61.6	68.4	66.2
[関西]公共工事前払保証額(10億円)	125.9	279.6	122.7	172.9	175.1	136.4	151.7	116.3	75.4	95.8	60.9	68.1	118.1
[関西]公共工事前払保証額(前年同月比%)	12.0	6.2	-3.8	-13.7	30.1	32.2	18.0	-5.5	-11.7	-1.5	-5.4	-14.9	-6.2
[全国]公共工事前払保証額(10億円)	1,339.5	2,030.1	1,145.3	1,527.8	1,361.8	1,247.3	1,471.6	1,127.3	822.0	851.4	699.7	769.3	1,485.9
[全国]公共工事前払保証額(前年同月比%)	5.0	10.6	1.4	-1.8	-6.9	12.7	18.1	-10.0	-5.7	5.3	7.1	10.4	10.9
[関西]建設工事(総合、10億円)	531.5	461.9	461.4	485.4	485.4	535.8	555.7	580.1	584.1	587.6	579.6	570.0	UN
[関西]建設工事(総合、前年同月比%)	-7.4	-1.3	-1.3	-0.3	-0.3	5.6	6.7	7.3	4.1	1.7	2.7	3.4	UN
[全国]建設工事(総合、10億円)	4,423.7	3,589.2	3,553.4	3,786.3	3,786.3	4,209.0	4,529.1	4,719.8	4,757.2	4,776.8	4,691.1	4,607.9	UN
[全国]建設工事(総合、前年同月比%)	-2.1	-1.2	0.1	1.6	1.6	0.3	2.9	1.7	1.0	0.9	1.7	2.2	UN
[全国]建設工事(公共工事、10億円)	2,003.3	1,362.5	1,296.9	1,402.7	1,402.7	1,620.1	1,837.8	1,980.6	1,999.2	2,021.9	1,985.7	1,948.2	UN
[全国]建設工事(公共工事、前年同月比%)	-6.4	-5.8	-6.3	-3.6	-3.6	-5.7	-1.5	-4.2	-6.3	-6.4	-5.2	-4.2	UN
生産													
[関西]鉱工業生産(季節調整値、10年=100)	105.0	104.1	103.3	101.8	100.9	102.0	107.2	104.5	106.1	108.8	108.3	109.8	UN
[関西]鉱工業生産(季節調整値、前月比)	7.5	-0.9	-0.8	-1.5	-0.9	1.1	5.3	-2.5	1.5	2.7	-0.5	1.8	UN
[関西]"出荷指数(原数値、前年同月比%)	-0.3	-1.3	3.2	-1.1	-3.3	2.9	3.7	0.7	9.3	6.2	4.2	4.8	UN
[関西]"在庫指数(原数値、前年同月比%)	1.8	2.6	3.9	3.5	1.4	2.1	3.2	-0.8	-6.1	-4.0	-2.0	-1.7	UN
[関西]"出荷指数(季節調整値、10年=100)	101.5	101.8	101.2	99.7	100.7	99.9	104.0	103.5	106.4	106.0	103.2	104.8	UN
[関西]"出荷指数(季節調整値、前月比)	5.9	0.3	-0.6	-1.5	1.0	-0.8	4.3	-0.5	2.8	-0.3	-2.6	2.1	UN
[関西]"在庫指数(季節調整値、10年=100)	119.2	120.2	121.7	121.7	119.7	120.8	121.8	116.8	111.1	113.1	115.9	116.6	UN
[関西]"在庫指数(季節調整値、前月比)	0.5	0.8	1.2	-0.2	-1.6	0.9	1.0	-4.1	-4.9	1.8	2.5	0.8	UN
[全国]鉱工業生産(季節調整値、10年=100)	96.7	97.2	94.7	96.9	96.5	97.8	98.4	98.4	99.9	100.6	100.2	101.7	UN
[全国]鉱工業生産(季節調整値、前月比)	3.8	0.5	-2.6	2.3	-0.4	1.3	0.6	0.0	1.5	0.7	-0.4	3.2	UN
[全国]"出荷指数(原数値、前年同月比%)	-0.7	-3.4	-1.0	-1.7	-4.0	1.6	0.7	-2.0	5.1	2.3	4.3	3.7	UN
[全国]"在庫指数(原数値、前年同月比%)	1.8	0.1	0.8	0.0	-1.8	-1.6	-2.0	-3.0	-4.8	-4.6	-4.3	-3.9	UN
[全国]"出荷指数(季節調整値、10年=100)	94.5	96.0	93.5	95.1	95.8	94.7	96.4	98.3	99.3	98.9	99.2	99.2	UN
[全国]"出荷指数(季節調整値、前月比)	1.8	1.6	-2.6	1.7	0.7	-1.1	1.8	2.0	1.0	-0.4	0.3	1.4	UN
[全国]"在庫指数(季節調整値、10年=100)	115.4	113.4	113.9	113.9	111.2	111.5	110.9	108.6	106.9	107.5	107.4	108.1	UN
[全国]"在庫指数(季節調整値、前月比)	2.9	-1.7	0.4	0.0	-2.4	0.3	-0.5	-2.1	-1.6	0.6	-0.1	0.7	UN
労働													
[関西]現金給与総額(2府4県、前年同月比%)	1.2	0.3	-0.1	1.5	-0.4	-0.4	-0.1	-0.1	-0.6	1.1	UN	UN	UN
[関西]現金給与総額(2府1県、前年同月比%)	1.0	0.4	0.0	1.5	-1.1	-0.5	-0.4	-0.2	-0.3	0.6	-0.1	UN	UN
[全国]現金給与総額(前年同月比%)	1.5	0.0	-0.1	1.4	1.2	0.0	0.0	0.1	0.5	0.5	0.3	UN	UN
[関西]完全失業率(季節調整値)	3.7	4.1	3.7	3.7	3.4	3.8	3.6	3.3	3.3	3.3	2.7	3.2	UN
[関西]完全失業率(原数値)	3.7	4.0	3.6	3.7	3.6	4.1	3.8	3.3	3.0	2.9	2.8	3.3	UN
[全国]完全失業率(季節調整値)	3.2	3.2	3.2	3.1	3.0	3.1	3.0	3.0	3.1	3.1	3.0	2.8	UN
[関西]新規求人倍率(季節調整値)	1.88	2.00	2.00	1.98	1.94	2.01	2.06	2.02	2.12	2.14	2.05	2.08	UN
[全国]新規求人倍率(季節調整値)	1.94	2.04	2.06	2.03	2.03	2.07	2.10	2.11	2.15	2.19	2.13	2.12	UN
[関西]有効求人倍率(季節調整値)	1.22	1.25	1.27	1.28	1.29	1.28	1.29	1.31	1.33	1.34	1.34	1.35	UN
[全国]有効求人倍率(季節調整値)	1.31	1.33	1.35	1.36	1.37	1.37	1.38	1.40	1.41	1.43	1.43	1.43	UN
国際貿易													
[関西]純輸出(10億円)	222.4	223.1	93.1	223.6	179.9	100.5	156.6	205.5	77.6	289.2	-192.9	356.9	223.6
[関西]輸出(10億円)	1,337.1	1,261.0	1,102.9	1,281.8	1,199.4	1,177.4	1,263.3	1,245.6	1,251.0	1,418.5	1,090.0	1,353.1	1,476.6
[関西]輸出(前年同月比%)	-8.4	-8.8	-12.8	-7.3	-12.7	-9.4	-8.9	-10.9	1.1	6.0	-1.7	12.8	10.4
[関西]輸入(10億円)	1,114.7	1,037.9	1,009.9	1,058.2	1,019.5	1,076.9	1,106.7	1,040.1	1,173.5	1,129.3	1,284.0	996.2	1,253.0
[関西]輸入(前年同月比%)	-11.4	-18.1	-12.7	-15.3	-25.4	-12.7	-12.1	-19.9	-7.3	-3.7	9.9	-6.1	12.2

注：鉱工業生産 輸送機械工業は船舶・鉄道車両除く。

## Release Calendar for March/April

Monday	Tuesday	Wednesday	Thursday	Friday
27-Mar	28-Mar 近畿鉱工業生産指数 (1月確報)	29-Mar 商業動態調査 (2月:速報値)	30-Mar 全国貿易統計 (2月:確速)	31-Mar 新設住宅着工(2月) 全国鉱工業生産指数 (2月:速報値) 求人倍率(2月) 完全失業率(2月)
3-Apr 中国製造業 PMI (4月)	4-Apr	5-Apr	6-Apr 消費動向調査(3月)	7-Apr 毎月勤労統計 (2月:速報値)
10-Apr 景気ウォッチャー調査 (3月) 近畿鉱工業生産指数 (1月速報) 近畿貿易統計 (1月確報) 近畿貿易統計 (2月確速)	11-Apr	12-Apr 中国消費品小売(物価 指数)(2月)	13-Apr 商業動態調査 (2月:確報値) 中国輸出入 (3月:速報値)	14-Apr 全国鉱工業生産指数 (2月:確報値)
17-Apr マンション契約率 (3月) 建設総合統計(2月) 中国工業生産(3月) 中国消費小売総額 (3月) 中国固定資産投資 (3月) 中国不動産市場 (3月)	18-Apr 1-3 月期中国 GDP	19-Apr	20-Apr 毎月勤労統計 (2月:確報値) 全国貿易統計 (3月:速報) 近畿貿易統計 (3月速報)	21-Apr 公共工事前払保証額 統計(3月)
24-Apr	25-Apr 近畿鉱工業生産指数 (2月確報)	26-Apr	27-Apr 全国貿易統計 (3月:確速)	28-Apr 商業動態調査 (3月:速報値) 全国鉱工業生産指数 (3月:速報値) 新設住宅着工(3月) 求人倍率(3月) 完全失業率(3月)